

将来の土木事業を担う工業高校生への橋梁点検研修会を開催

○高度経済成長期以降、集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなどの道路インフラでは、高齢化・老朽化が確実に進んでおり、これらのメンテナンスを着実に実施していくことが重要となっています。

○「令和6年度 愛媛県道路メンテナンス会議」において、将来の土木事業を担うことが期待される松山工業高校生を対象に、道路橋の老朽化の現状やメンテナンスの重要性について理解を深めていただくために、橋梁の損傷原因や損傷の種類、補修方法を学ぶ、「橋梁点検研修会」を開催しました。

○愛媛大学大学院理工学研究科の森特定教授より写真判定AIによる点検方法の紹介をいただき参加者の道路メンテナンスへの理解が深まりました。

【開催概要】

■日 時: 令和7年3月13日(木) 9:50~12:30

■実習会場: 森松高架橋 (国道33号 松山市森松町)

■出席者: 松山工業高校 土木科1年生 40名

(愛媛大学大学院理工学研究科 森特定教授、松山河川国道事務所 2名 他)

■研修内容

●実習(コンクリート橋における点検実習)

- ・上下部工のひびわれ、うき、はくり、鉄筋露出、漏水、遊離石灰、定着部の異常等の確認
- ・シュミットハンマーによるコンクリート強度測定

●実習成果発表

- ・点検写真、損傷スケッチ、コンクリート強度計算結果、感想等をまとめ、各班全員が発表
- ・各班の発表内容への森特定教授からの講評

●森特定教授による座学

- ・点検作業の今後について
(写真判定AIによる点検等について)



森特定教授による実習指導



上部工の点検状況



シュミットハンマーによる強度測定



現地実習成果発表の状況